

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-027003

(43)Date of publication of application : 28.01.1997

(51)Int.Cl. G06F 19/00
G07D 9/00
G07D 9/00

(21)Application number : 07-177281 (71)Applicant : FUJITSU LTD

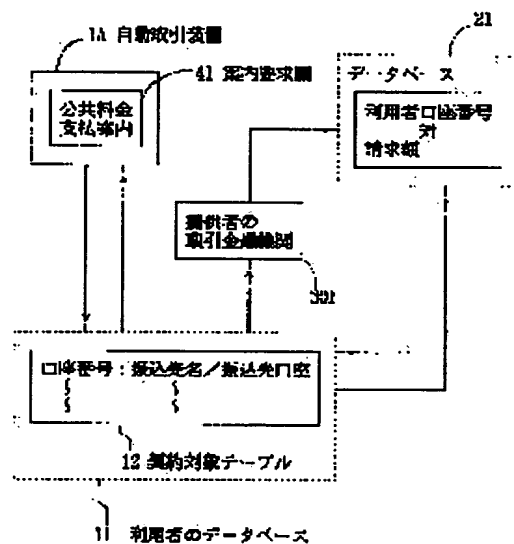
(22)Date of filing : 13.07.1995 (72)Inventor : TABU YOUKO

(54) CHARGE TRANSFER SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To grasp demanded public utility charges and follow a transfer procedure when ordinary depositing/withdrawing transactions are done on an automatic transaction device and provide a user with facilities by providing a data base wherein demanded charges are linked together with user's account numbers.

SOLUTION: A user makes a payment contract of service use with a provider and the data base 21 wherein the demanded charges are linked together with the account number of the user is installed in the center of the provider; and the transaction financial institution of the user is provided with a contract object table 12 wherein information on the contract with the provider is registered corresponding to the account number and further the automatic transaction device 1A is provided with a guidance request field 41 where the amount that the provider demands is displayed. The user operates the guidance request field 41 of the automatic transaction device 1A to make a connection with the data base 21 of the provider registered in the contract object table 12 and know whether or not there is a demanded amount, and then follows a payment procedure through the transaction financial institution 301 of the provider according to the display of the demanded amount.



(d)

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 9 - 2 7 0 0 3

(43) 公開日 平成9年(1997)1月28日

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 19/00			G 0 6 F 15/30 3 6 0	
G 0 7 D 9/00	4 3 6		G 0 7 D 9/00 4 3 6 B	
	4 5 1		4 5 1 C	

審査請求 未請求 請求項の数 4

O L

(全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平7-177281

(22) 出願日 平成7年(1995)7月13日

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

(72) 発明者 榎 陽子

神奈川県横浜市西区北幸2丁目8番4号 株式会社富士通京浜システムエンジニアリング内

(74) 代理人 弁理士 井桁 貞一

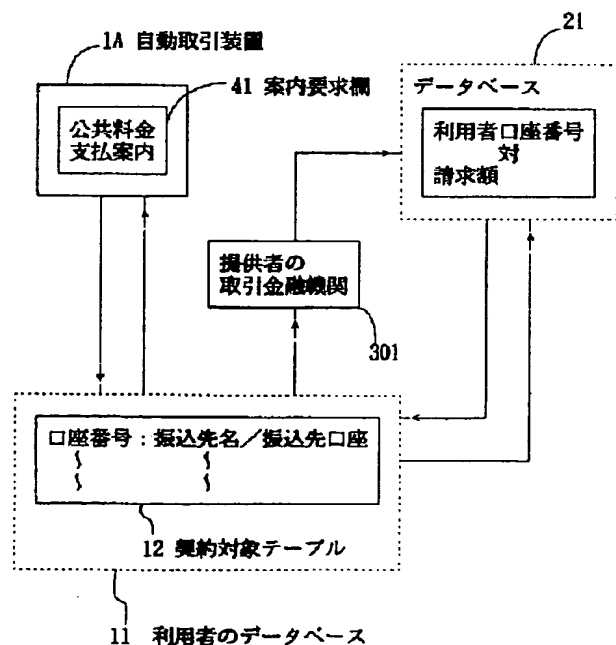
(54) 【発明の名称】 料金振込システム

(57) 【要約】

【目的】 本発明は自動取引装置サービスと公共料金の振込手続きに関し、利用者が自動取引装置で預金出金を行う際、自動取引装置に「公共料金等未納情報」の操作案内を表示し、自動取引装置を使用時に公共料金の請求額の把握と、振込手続きを可能とし、使用者の便宜を図ることを目的とする。

【構成】 サービス利用における支払い契約を提供者と利用者が結び、利用者の口座番号と共に請求額を連結したデータベースを提供者のセンタに備え、また利用者の取引金融機関には口座番号対応に提供者との契約情報を登録した契約対象テーブルを設け、更に自動取引装置には提供者からの請求額を表示させる案内要求欄を設けるように構成する。

本発明の構成原理図



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 サービス提供者からのサービスを利用した支払いを、金融機関を介してサービス提供者に利用者が支払う料金振込システムであって、金融機関に登録された利用者の口座番号を記録し、前記口座番号対応に前記利用者が利用したサービス利用額を格納するデータベースと、利用者の前記口座番号対応にサービス提供者との支払契約情報を登録した契約対象テーブルと、前記口座番号を入力させ、サービス提供者からのサービス利用額を問い合わせる照会手段と、前記照会手段が操作され、前記契約対象テーブルを介して前記データベースから当該口座対応のサービス利用額を読み出して表示する表示手段と、前記表示されたサービス利用額を前記契約対象テーブルに基づいてサービス提供者に振り込む振込手段、とを備えたことを特徴とする料金振込システム。

【請求項2】 請求項1記載の料金振込システムは、表示されたサービス利用額に対して、口座からの引き落とし又は現金による振り込みで処理することを特徴とする料金振込システム。

【請求項3】 利用者の口座番号対応にサービス提供者別にサービス利用額及び振り込み先を表示する手段を有することを特徴とする請求項1記載の料金振込システム。

【請求項4】 口座番号対応に表示されたサービス提供者からのサービス利用額に対して、支払い対象のサービス提供者を選択指示する指示手段を有することを特徴とする請求項1及び請求項3記載の料金振込システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は金融機関等が提供している自動取引装置サービスと公共料金の振込手続きに関する。

【0002】

【従来の技術】 近年、銀行等の金融機関の窓口業務の省力化のために、自動預金出金装置などの自動取引装置（ATM）が開発され、各金融機関の店舗内に設置され、省力化の推進と共に利用者サービスに多大な効果を奏している。そして、取引内容も現金の入出金はもとより自動振込へと広がっているため、利用者は公共料金の支払いもこの自動取引装置で利用が可能になっている。

【0003】 公共料金の徴収は、集金人が個別に各契約家庭を訪問して料金を請求する場合もあるが、逐次、金融機関を窓口とする振込、特に利用者の口座からの自動引き落としが普及してきている。しかし、自己の口座からの自動引き落としを好まず、公共サービスを行なう提供者からの振込請求書を受領し、使用額と請求額を確認してから振込を行なっている利用者も多い。

【0004】 図5は従来の公共料金振込システム図であ

2

り、同図（A）は自動振込みのケース、同図（B）は非自動振込みのケースである。図において、1は利用者の取引銀行、2は提供者のセンタ、3は提供者の取引銀行、10は利用者の口座、21は提供者のデータベース、22は請求対象テーブル、30は提供者の口座、40は銀行、50は銀行への振込代行を行なっているコンビニエンスストア等の代理店サービス、100は利用者、200は提供者をそれぞれ示す。

【0005】 同図（A）の場合、サービスの提供者200は提供者のセンタ2に保有するデータベース21を検索し、各契約した利用者100への請求額をリストアップし、請求対象リスト22を作成する。この請求対象リスト22に基づいて利用者100へは「通知書」を郵送し、また、この請求対象リスト22を予め提供者のセンタ2に登録されている利用者の取引銀行1へ送付して引き落とし依頼を行なう。利用者の取引銀行1は利用者の口座10からの引き落としを行なって、提供者の取引銀行3へ振込処理を行ない、提供者の取引銀行3はこの振込額で提供者の口座を更新して、提供者のセンタ2に書換え処理をした旨の通報を行なう。この通報を受けた提供者のセンタ2はデータベース21の更新処理を行なう。

【0006】 同図（B）の場合、利用者100が提供者200への支払いを自己都合で行なうことを選択した場合であり、提供者200からの「通知書兼振込書」を受領し、その請求金額（使用量、視聴料等）を確認してから支払うケースである。この際、利用者100は公共料金の各提供者200（例えば、ガス会社、電気会社、電信電話会社、水道局、放送局等）からの通知書を受領してから、金融機関の窓口または自動取引装置1Aを使用して振込を行ない、またはコンビニエンスストア等のスーパーで買い物をしたついでに、当該スーパーが提供する代理店サービス50を利用して入金を行なう。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】 上記の自己都合での振込を選択した場合、提供者が利用者へ送付する「通知書兼振込書」には提供者の振込先（金融機関名、口座名）は記入されておらず、しかも利用者がスケジュールの通り振込日をずらしているうちに、数箇所からの請求書が入り交じって整理がつかなくなり、二重支払いや未支払いによる意図しない督促や延滞料要求を受ける不都合があった。

【0008】 また、支払いに際して代理店サービスを利用すると、現金の移動と人手がその都度介入し、時間的なロス、人件費の負担が避けられず、更に現金の移動による事故等に気を配る必要があった。

【0009】 本発明はこのような点にかんがみ、利用者が銀行の自動取引装置で通常の預金出金の取引を行う際、自動取引装置に「公共料金等未納情報」の操作案内を表示し、利用者が自動取引装置を使用時に各公共料金

50

の請求額の把握と、振込手続きが可能な機能を提供し、使用者への便宜を図った公共料金振込システムを提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】上記の課題は図1の如くに構成された請求項1に記載の本発明によって解決される。サービス利用における支払い契約を提供者200と利用者100が結び、利用者の口座番号と共に請求額を連結したデータベース21を提供者200のセンタに備え、また利用者の取引金融機関101には口座番号対応に提供者200との契約情報を登録した契約対象テーブル12を設け、更に自動取引装置1Aには提供者200からの請求額を表示させる案内要求欄41を設けた構成を採用する。

【0011】

【作用】自動取引装置1Aの前記案内要求欄41を操作し、前記契約対象テーブル12に登録された提供者200の前記データベース21に接続して請求額の有無を通知させ、請求額の表示に対して提供者の取引金融機関301を介して支払い手続きを行なう。

【0012】

【実施例】以下に、この発明の実施の形態を図2乃至図4を参照して説明する。図2は実施の形態の処理システム構成図である。図において、1は利用者の取引銀行であり、取引顧客（預金者、融資先等）に対する情報を蓄積したデータベース11を備え、このデータベース11内に利用者の口座10と共に利用者が契約したサービス提供者との契約対象テーブル12が設けられている。また、1Aは銀行の店舗内等に設置された自動取引装置ATMであり、利用者は図4に説明する画面にガイドされた操作を行なって入金または出金を行なう。また、1Lは後述する支払い請求額を自動取引装置1Aの画面（図4参照）に表示させるリスティング表示処理部であり、1Sは自動取引装置1Aを操作して利用者100が入力した口座番号によってデータベース11内の契約対象テーブル12を検索する検索処理部であり、また1Kは自動取引装置1Aを操作した入金または振込を処理する入金及び振込処理部である。

【0013】次に、2はサービス提供者側が備えた提供者のセンタであり、ここに設けられた提供者のデータベース21内に利用者に対する請求対象リスト22が登録蓄積されている。

【0014】また、3は提供者の取引銀行であり、データベース31内に口座30を有し、利用者の取引銀行1からの振込通知を受けて処理する入金及び振込処理部3Kを有している。そして300は網を示し、全図において同一符号は同一物を示す。

【0015】上記構成を備える本実施の形態の作用を画面説明図（図4）を併用して図3によって説明する。図3は実施の形態の振込手続きフローチャートであり、ス

テップS1乃至ステップS9を遂行するものである。

【0016】ステップS1：これは自動取引装置1Aの取引操作選択ステップであり、利用者100は自己の取引銀行1へ出向き、自動取引装置1A（ATM）の取引初期画面である種目選択画面4に對面する。この種目選択画面4内には取引種別を指示する案内要求欄41が表示されており、利用者100はこの内から「公共料金支払案内」欄を指等でタッチする。このタッチ信号により図示しないガイド表示、即ち、「カード挿入／暗証入力」が画面に現れる。

【0017】ステップS2：利用者100はこのガイドに従って、カードを挿入する等で自己の「口座番号」を入力する。

ステップS3：さらに利用者100は続いて現れるガイドに従って「暗証」を入力する。

【0018】ステップS4：上記した口座番号と暗証が入力され、照合が一致すると図2に示す検索処理部1Sが起動し、データベース11にアクセスして、入力された口座番号に基づいて契約対象テーブル12を検索する。この契約対象テーブル12から利用者が契約している複数の公共サービス提供者200（例えば、ガス会社、電気会社、電信電話会社、水道局、放送局等）の名称または振込口座等が読み出される。

【0019】ステップS5：この読み出したそれぞれの公共サービス提供者200のセンタ2と通信を開始し、当該口座番号を通知する。口座番号を受信したそれぞれのサービス提供者のセンタ2はデータベース21に蓄積してある「請求対象リスト」を検索し、当月度までに請求書発行済でかつ未払いとなっているサービスの請求額を抽出し、「請求リスト」として返送する。

【0020】ステップS6：それぞれのサービス提供者から返送された「請求リスト」は利用者の取引銀行1のリスティング表示処理部1Lに入力され、製表されて自動取引装置1Aの画面（図4、一覧画面5を参照）に表示される。図4の一覧画面5には図示のごとく、ガス、電気、水道の各社からの請求書が発行されており、納入期限と請求額が表示され、かつ利用者の口座残高が表示される。

【0021】ステップS7：利用者はこの一覧画面5を確認し、口座残高と請求額を見て振込処理を行なうか否かを判断する。

ステップS8：口座残高から振込可能と判断したならば、一覧画面5から支払対象のサービス提供者を選択し振込手続きを行なう。また、利用者は口座残高を見て口座からの引き落としが出来ないと判断した時は、現金による振込手続きを行うものである。この手続きが遂行されると、入金及び振込処理部1Kが起動し、利用者の口座10からの引き落とし又は現金による振込み処理を行なって残高を調整し、明細書をレシートに印字出力し、サービス提供者の取引銀行3に通信して口座30への振込処

理およびセンタ 2 のデータベース 2 1 の書換え処理を行なう。

【0022】ステップ S 9 : 振込処理が完了すると、自動取引装置 1 A の画面が切り替わり、図 4 (C) に示す入金画面 6 が表示される。この入金画面 6 は支払いを行なったサービス提供者 2 0 0 を表示するものである。

【0023】以上の手続きが完了すると、自動取引装置 1 A は初期の種目選択画面 4 に戻り、通常の自動取引装置 1 A の機能を使用できる。

【0024】

【発明の効果】以上詳細に説明したように、本発明になる料金振込方式を採用すれば、利用者は自己都合で取引金融機関に出向いて支払う事が出来、請求書の紛失や紛れによる二重支払いや未支払いによる意図しない督促や延滞料要求を受けることを避ける事が出来る。また、支払い時には自己の口座残高が確認できるので、請求額と預金残額を比較して支払う相手先を決めることができ、不測の出費で手元不如意を来すことがないようにできるという格別な効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の構成原理図である。

【図 2】処理システム構成図である。

【図 3】実施の形態の振込手続きフローチャートである。

【図 4】画面説明図である。

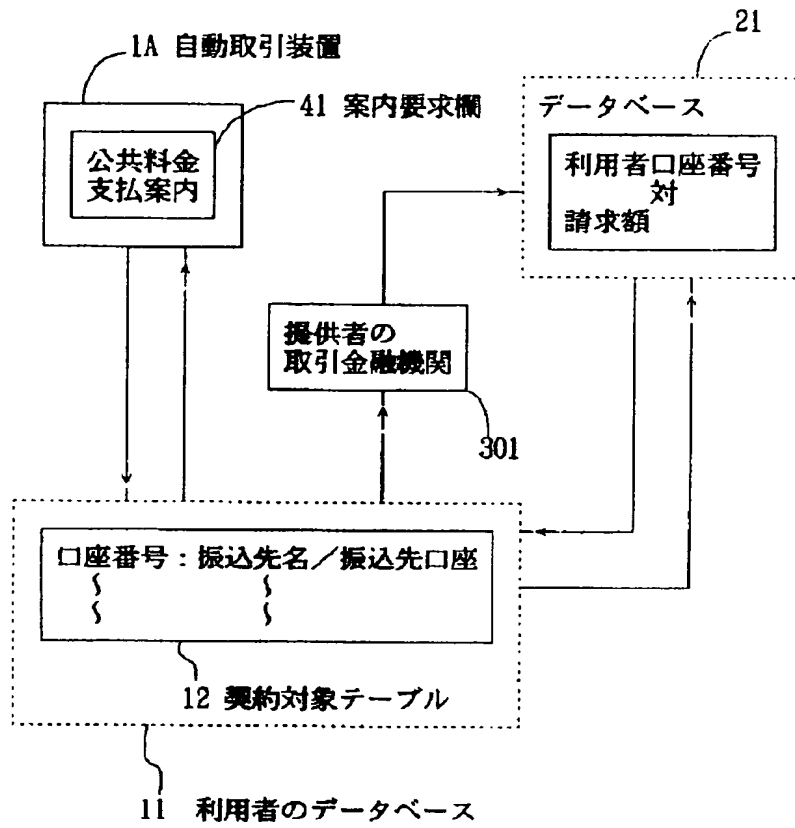
【図 5】従来の公共料金振込システム図である。

【符号の説明】

- 1 0 0 利用者
- 1 利用者の取引銀行
- 1 0 1 利用者の取引金融機関
- 1 A 自動取引装置 (A T M)
- 1 1 利用者のデータベース
- 1 0 利用者の口座
- 1 2 契約対象テーブル
- 10 4 種目選択画面
- 4 1 案内要求欄
- 5 一覧画面
- 6 入金画面
- 2 0 0 提供者
- 2 提供者のセンタ
- 2 1 提供者のデータベース
- 2 2 請求対象リスト
- 3 提供者の取引銀行
- 3 0 1 利用者の取引金融機関
- 20 3 0 提供者の口座
- 3 1 提供者取引銀行のデータベース
- 4 0 銀行
- 5 0 代理店サービス
- 3 0 0 網

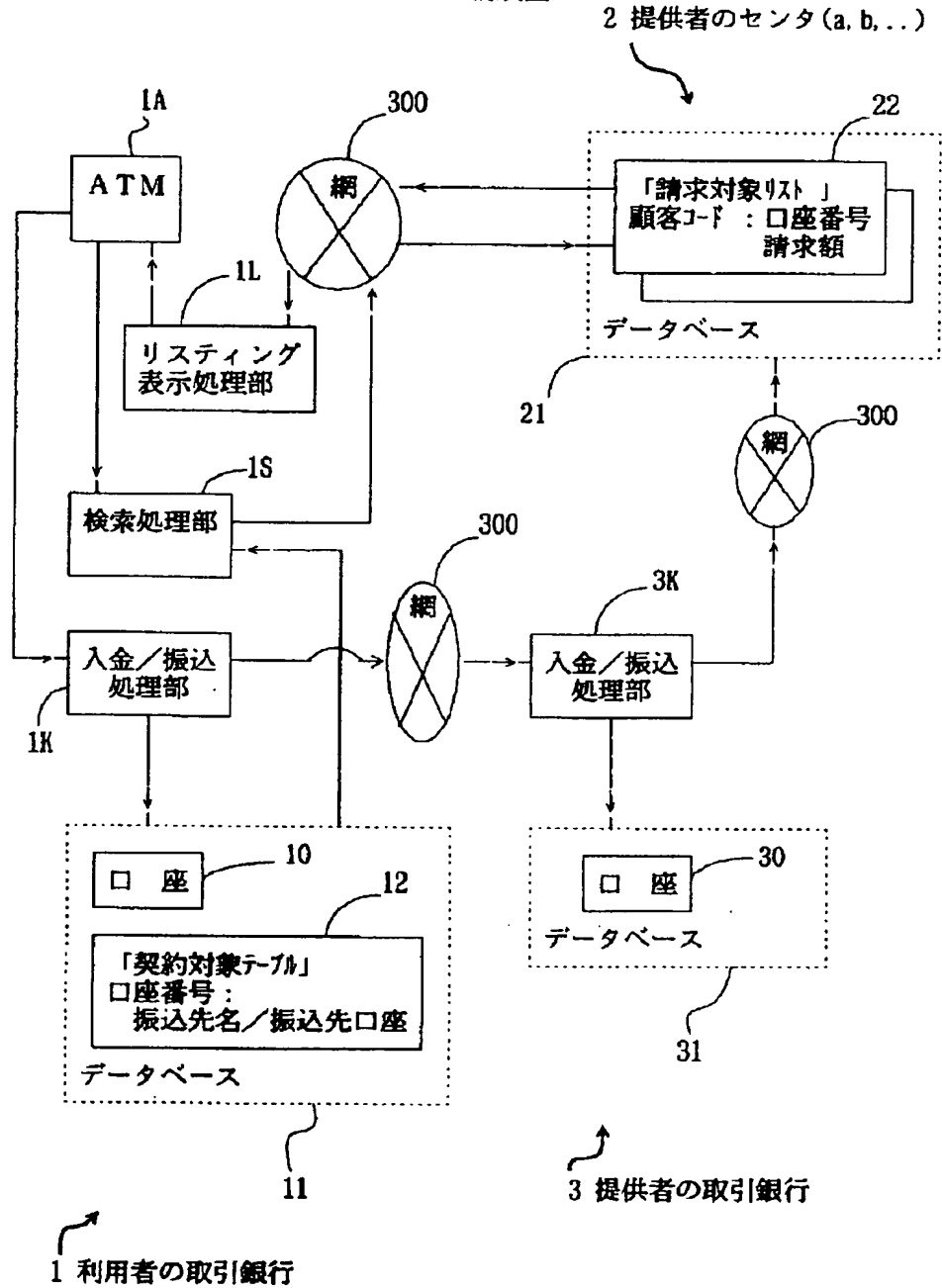
【図1】

本発明の構成原理図



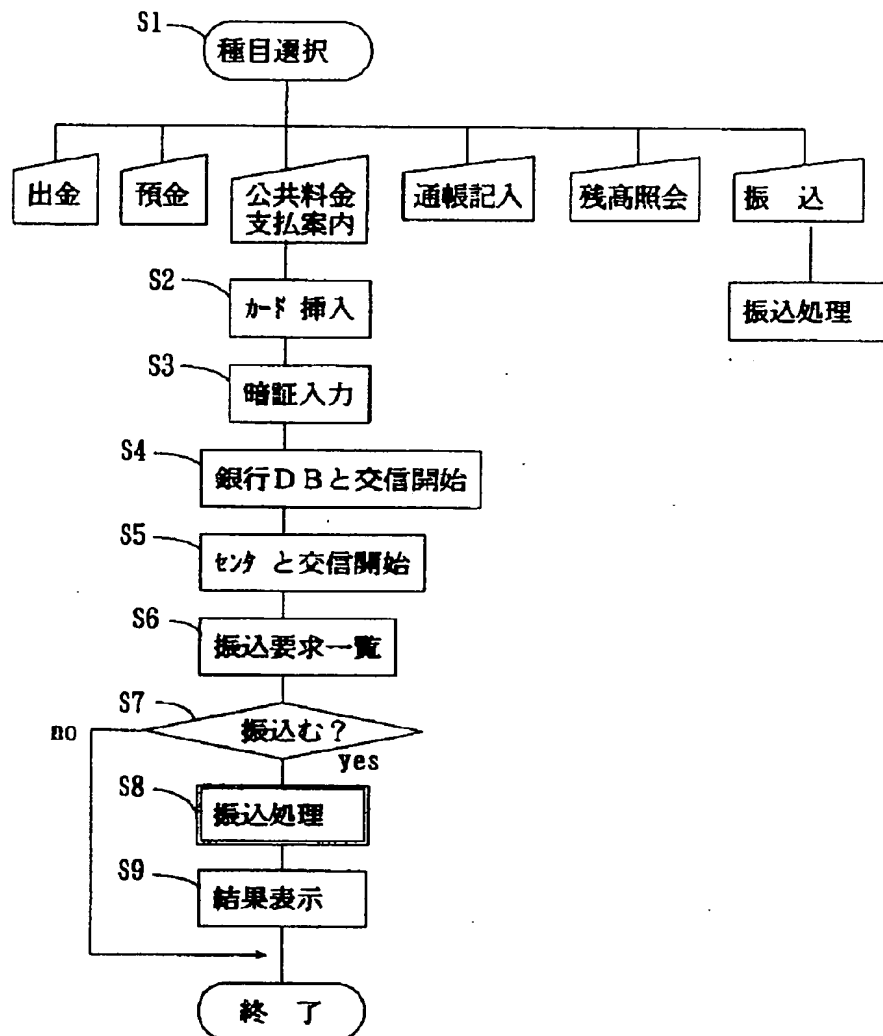
【図2】

処理システム構成図



【図3】

実施例の振込手続きフローチャート



【図4】

画面説明図

(A) 種目選択表示画面

4 種目選択画面

引き出し	預金	残高照会
公共料金支払案内	振込	通帳記入

41 案内要求欄

(B) 振込要求一覧表示画面

5 一覧画面

〇年〇月〇日 〇時〇分現在

番号	提供者	請求日	請求月	請求額	納入期限
1	g g ガス△△支店	〇月〇日	〇月度	7000 円	〇月〇日
2	z z 電電△△支店	〇月〇日	〇月度	5000 円	〇月〇日
3	ww 水道局△支所	〇月〇日	〇月度	3500 円	〇月〇日

貴方の現在の銀行残高 xxxx円 振込番号:

(C) 振込結果表示画面

6 入金画面

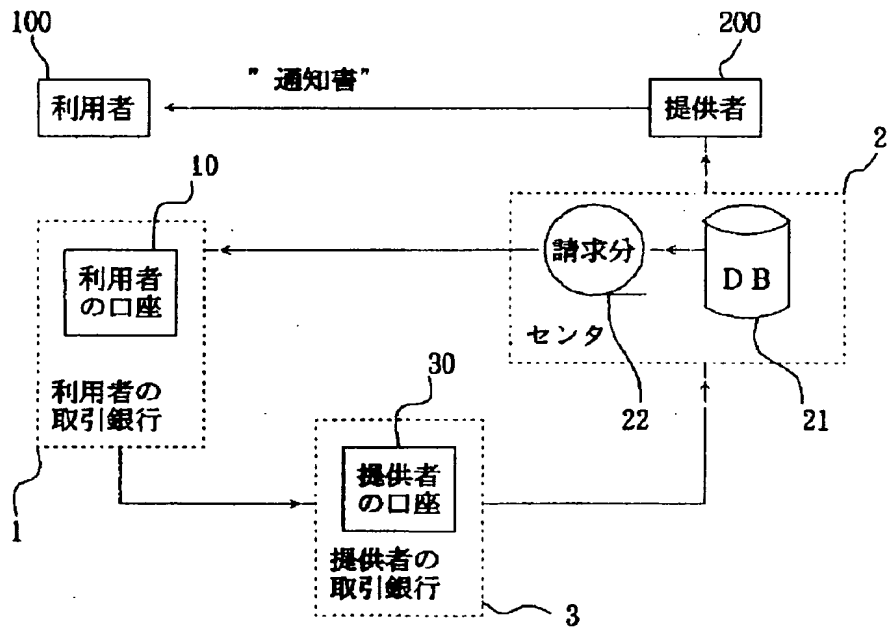
振込先	請求日	請求月	請求額
g g ガス△△支店	〇月〇日	〇月度	7000 円
z z 電電△△支店	〇月〇日	〇月度	5000 円

貴方の現在の銀行残高 xxxx円

【図5】

従来の公共料金振込システム図

(A) 自動振込み



(B) 非自動振込み

